

平成25年度「みえの現場・すごいやんかトーク」(名張市)の概要

8月3日(土)に名張市の名張市武道交流館いきいきで「みえの現場・すごいやんかトーク」を開催しました。

当日は、名張市子育て支援サークル連絡協議会の関係者の皆さん7名の方にお集まりいただき、活動内容や活動をして良かったこと、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。



【参加者からの発言】

参加者の皆さんから、以下のようなご意見をいただきました。

○名張市子育てサークル連絡協議会では、単体のサークルではやれない活動(例えばバルーン遊び、体操教室、不用品交換会など)を中心に展開している。

○連絡協議会の加入サークルが一時期減って存続の危機になったが、最近増えてきた。

○親子で遊ぶだけでなく、親中心で活動するサークルが増えてきたので、次の世代にも引き継ぎができるようになってきた。

○子どもを通じたママ友としてのつきあいではなく、親自身が好きなことをするので、本当の友達としてつながってもらえると期待している。またサークル活動を通じて、地域のつながりのきっかけになればいい。

Q、この活動に参加して、良かったこと、嬉しかったこと、感動したことはありますか？

○サークル活動を通じて自分の生き方を学ばせてもらっている。

○サークルは家族みたいな場所。自分の子どもを他の親から注意してもらえるし、先

輩ママからいろんなことを学べるので、うれしい。

サークル活動は自発的な活動なので、嫌ならやめていくことが多い。連絡協議会には複数のサークルが加盟するので、自分に合わない場合でも、他のサークルに加入できるという安心感がある。そのような窓口機能があることが協議会の良さである。

お金がなくても手作りができることで、心が豊かになった。

みんなでいいものをシェアできるのはいい。

自宅ではイライラして自制心が働かないこともあるが、他の親から子どもへの接し方などの気づきや学びを得られる。リアルタイムで子どもの育て方を教えてもらえる。

昔と比べて最近では近所に子どもがいないし、子ども同士で遊ぶ機会になっている。

時間がかかるけれども、子どもに何かをしてあげられることがいい。お金ではかえられないものを手作りすることを通じて、「子どもにしてあげたい」、「やってみたい」と思えるようになった。

楽しいことは何かを買ってあげることやどこかへ連れていくことではないという新しい感覚を、祖父母に伝えていく役目があると考えている。

サークル活動で良かった点は、挫折しそうなときに、仲間がいるから乗り越えられることである。

都会で住んでいた頃の価値観が、大きく変わった。都会では、商業主義的なので、お金を使って何かを買うとか、商業施設へ行くなど、お金ありきの生活であった。しかし、自分で何を買っても満足することはなかったし、心に残らなかった。

サークル活動を通じて、周りの方からものを大切にすることに気づかされた。子どもに何かを作ってやりたい、手作りしたいと思うようになり、また心のうるおいや人に対する愛情が生まれた。サークルの仲間に出会ったことが一生の宝になっている。

サークル活動を積み重ねることで、社会を見る目も変わった。震災がれき処理の問題も、自分の頭で考えるようになった。行政に守ってもらうのではなく、自分たちの環境を守るためには行政任せでいいのか、自分たちでやるべきではないのかと考えるようになった。子どもの未来のためには何をすればよいのかとも考えるようになり、自分の価値観が変わった。提案として、国の方ばかり見ないで、人、子どもの方を向いた対応をお願いしたい。

Q.この活動をより良くしていくために、こんな課題があるんだとか、行政からはこんなお手伝いがしてほしいなどありませんか？

子育て支援サークルの活動をもっと広めていきたい。

行政への要望はないが、行政がやることを待つのではなく、私たちの主体的な活動を応援してほしい。

自主的に活動する人たちを、県や市にバックアップしてほしい。

【知事の発言】

皆さんからのご意見を受け、知事からは次のような発言がありました。

子育てのためのサポートは画一的ではなく、きめ細かにすべきであるが、行政ではなかなか難しい面もある。皆さんのようにきめ細かな活動をされていることは大変貴重であり、行政が対応できない部分をサポートされていることに感謝している。

季節感を感じたり、学べたりする機会が多いことはとても良い。

挫折したときに一緒に乗り越えられる仲間がいることはとても良い。

誤解のないようにしてほしいが、県や市が国の方ばかり向いているように見えたのであれば、自分たちの伝え方や説明が十分でなかったのではないかと思うので、反省したい。

みえ県民力ビジョンに掲げているように、自ら主体的に考えて行動する人を応援していきたいと考えている。

行政も人がすることなので、常に100点をとれるわけではないので、バックアップや応援の仕方が違うということがあれば、教えてほしい。

キーワードは、「主体的に」、「手作り」、「自分自身も」、「世代を超えて」ということ。



【名張市子育て支援サークル連絡協議会とは】

名張市子育て支援サークル連絡協議会は、サークル間の連携、交流、親睦、保育の充実等、相互の親睦を図ることを目的に設立し（子育てサークル11団体が加盟）、名張市子ども支援センターかがやきを拠点に活動しています。具体的に、夏祭り、遠足、運動会、講演会などのイベント等を企画、実施しています。